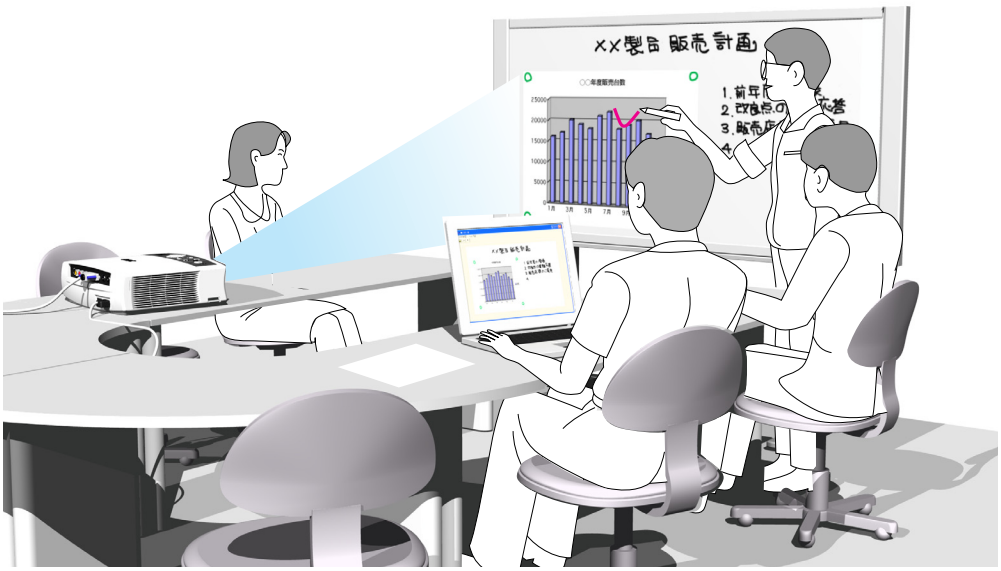
PLUS

Captureboard C-20 シリーズ

PLUS C-20 Software

ソフトウェア操作説明書



この度は弊社の製品をご購入いただきまして、誠に有難うございます。
キャプチャーボード C-20 シリーズの付属ソフトウェア「PLUS C-20 Software」に関して、機能を十分にご活用いただくために、ご使用前に本紙ソフトウェア操作説明書をよくお読みください。なお、お読みになった後も必ず保管してください。

目 次

はじめに 3
PLUS C-20 Software とは 3
動作環境 3
著作権・使用許諾 4

各機器との接続 5
付属 CD-ROM のメニュー画面（C-20 setup launcher）の内容 5

ソフトウェアのインストール 6
インストールの前のご確認 6
PLUS C-20 Software のインストール 6
PLUS C-20 Software のアンインストール 7

メニュー画面の名称とはたらき 8
メニュー 8
合成画像表示画面 9

基本の操作 11
キャプチャー画像を合成する 11
キャプチャー画像を微調整する 15

キャプチャー設定 16

商標について

- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
その他、記載されている商品名、会社名は、各社の登録商標、または、商標です。

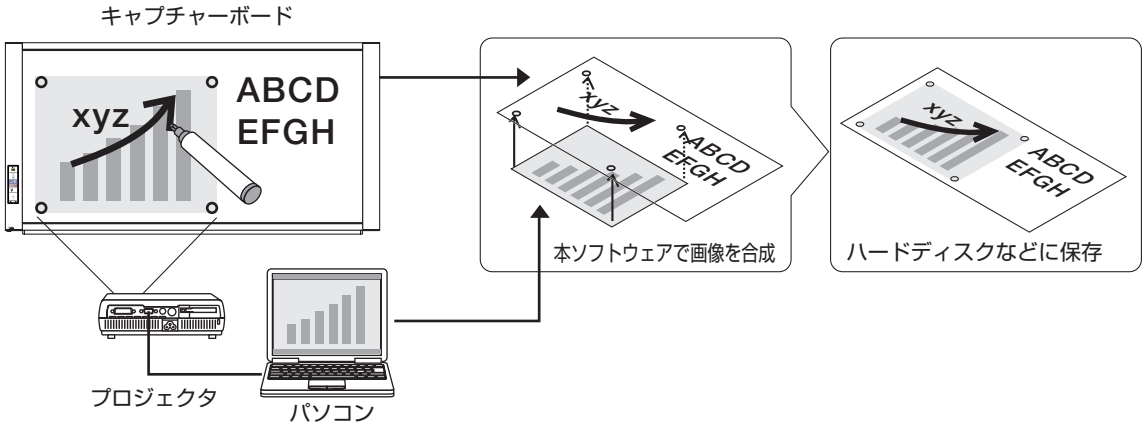
（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5）別売品のプリンタは本機の周辺機器として使用されることを前提としておりますので、パソコンと直接接続して使用する場合の動作保証はいたしておりません。
（6）乱丁、落丁はお取り替えいたします。

はじめに

本書は、PLUS C-20 Software の操作説明書です。キャプチャーボードの設定は C-20S/C-20W 取扱説明書をご覧ください。

PLUS C-20 Software とは

キャプチャーボードの読み取りデータを使いイメージ画像として取り込んでからパソコン上でプロジェクタの投影画像と合成し、画像データとして保存することができます。
プロジェクタの投影画像とキャプチャーボード読み取りデータの位置合わせは、キャプチャーボードのシート面上にマークされたプロジェクタ投影位置情報を検出して、自動で簡単に位置決めできる機能付きです。
※本書では、PLUS C-20 Software を本ソフトウェア、キャプチャーボードを本機（または本体）と記載する場合もあります。



ご注意

- 本ソフトウェアは会議記録の保存を目的としています。正確なカラーや画質を再現して保存することはできません。また、読み取りデータの自動位置合わせ機能は、正確な位置合わせ動作を保証するものではありません。
- 「PLUS C-20 Software」は、画面合成ソフトウェアです。
  ※ キャプチャーボード本体を組み合わせてご使用いただくことにより、プロジェクタの投影画像と合成が可能となります。
- 合成後のデータは、キャプチャーボード（本体）のネットワーク保存メモリに保存できません。

動作環境

対応 OS：	Windows XP (Home Editiom /Professional Editiom Service Pack 3 以上）/ Windows Vista（32bit バージョン）/ Windows 7（32bit / 64bit バージョン）
対応 PC：	上記 OS が動作する IBM PC/AT 完全互換機
CPU:	1.2GHz 以上のプロセッサ
メモリ：	Windows XP（256MB 以上）、 Windows Vista（512MB 以上） Windows 7（2GB 以上）
コネクタ：	USB ポート（タイプ A）, インターフェースは USB2.0 High-Speed 対応
空き HD 容量：	40MB 以上（画像保存領域を除く）
表示解像度：	800 x 600 ピクセル以上
周辺機器：	CD-ROM ドライブ、標準の USB ポート

ご注意

- 上記の動作環境ですべての動作を保証するものではありません。
- Macintosh には対応していません。

著作権・使用許諾

◆著作権

本ソフトウェアおよび関連著作物の著作権は、プラス株式会社 (以降、弊社) が有し、日本国著作権法及び国際条約により保護されています。
Copyright (C) Since 2011 PLUS Corporation All rights reserved.

必ずソフトウェア使用許諾契約をよくお読み頂き同意される場合にのみご使用ください。

◆免責・保証範囲

本ソフトウェアおよび関連ソフトウェアによる生成物が、直接または間接的に損害を生じたとしても、弊社は一切の責任を負いません。また、機器や媒体が原因の損害にたいしても、弊社は一切の責任を負いません。
さらに、弊社は本ソフトウェアを使用した結果の影響に関しても、一切の責任を負わないものとします。

◆使用条件および配布条件

・弊社は本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じたあらゆる損害について、いかなる責任も負いません。
・弊社は本ソフトウェアについてのサポート、あらゆる種類の保証、障害の修正やバージョンアップの継続等のいかなる義務も負いません。
・以上に同意する限り、非営利目的での個人利用、社内利用は自由です。
・ここにいう「本ソフトウェア」とは実行ファイルだけでなく、ヘルプや添付文書も含むすべての構成ファイルのことです。

◆サポート

質問、要望、障害報告等の声に応えたり、各種の情報提供を行うのを一括してサポートと呼ぶこととし、弊社のサポートの範囲は、本ソフトウェアの機能、操作に限らせていただきます。
本ソフトウェアをご利用される上で生じる問題は、パソコン本体に起因するもの、OS に起因するもの、他のアプリケーションソフトウェアに起因するもの、その他周辺機器に起因するものなど多岐にわたります。　よって弊社は、本ソフトウェアに起因する問題のみをサポートするものとします。また、本ソフトウェアは、ハードウェアやソフトウェアの技術的進歩により事前の予告なしにバージョンアップすることがあります。お客様は弊社が定める方法により、本ソフトウェアのバージョンアップ品を受取り、使用することができます。なお、バージョンアップは上記使用条件に同意されたお客様にのみに限られます。

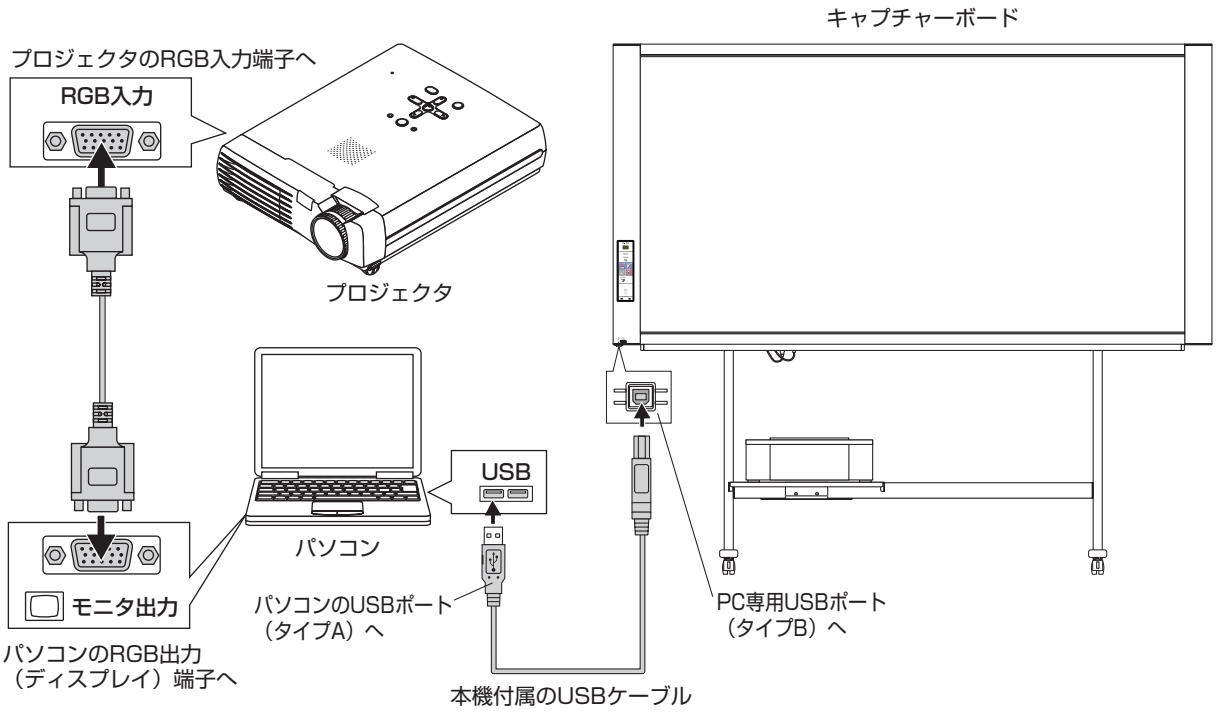
※本ソフトウェアをホームページからダウンロード、または CD-ROM からインストールしたときをもって、お客様は各条項に同意したものとみなされます。

各機器との接続

本ソフトウェアを使うには、本機とパソコンとの USB 接続が必要です。

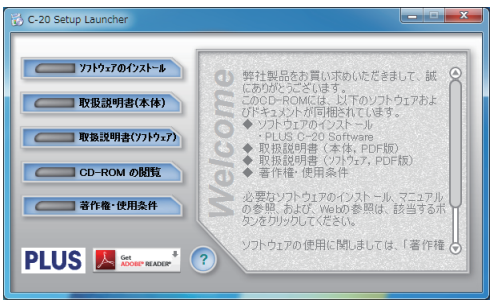
ご注意

- ソフトウェアをインストールする前は、本機をパソコンと接続しないでください。
- 2 台以上のコピーボードを 1 台のパソコンに接続しないでください。
- キャプチャーボードに接続したプリンタを使用してパソコンから印刷する場合は、必ずプリンタドライバをパソコンにインストールしてください。



付属 CD-ROM のメニュー画面（C-20 setup launcher）の内容

付属 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入すると自動的にメニュー画面が表示されます。



■ ソフトウェアのインストール
クリックするとインストーラが立ち上がり［PLUS C-20 Software］がインストールされます。

■ 取扱説明書（本体）
クリックすると取扱説明書（PDF 形式）が開きます。

■ 取扱説明書（ソフトウェア）
クリックすると PLUS C-20 Software ソフトウェア操作説明書（PDF 形式）が開きます。

■ Acrobat Reader
PDF 形式のファイルを閲覧するソフトウェアです。
PDF 形式のファイルが開けない場合は、メニューの［Acrobat Reader］をクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

※ CD-ROM の閲覧
CD-ROM の内容をパソコンのエクスプローラを使って表示します。

※ 著作権・使用条件
著作権および使用条件などを開きます。

ソフトウェアのインストール

付属 CD-ROM のメニューから［ソフトウェアのインストール］を選択すると「PLUS C-20 Software」がインストールされます。

インストールの前のご確認

1. 使用するパソコンが動作条件を満たしているか確認してください。
2. 使用するパソコンと本機が USB 接続されていないことを確認してください。
3. インストールの際は、「コンピュータの管理者」の権限（アカウント）でインストールしてください。
4. 実行中の他のアプリケーションを全て終了してください。

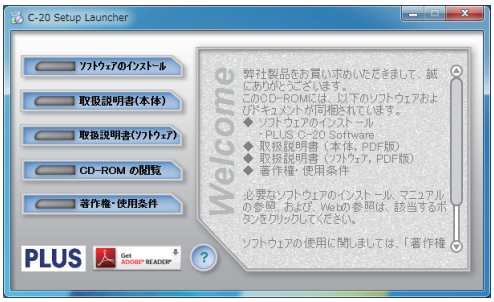
PLUS C-20 Software のインストール

1 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入します。

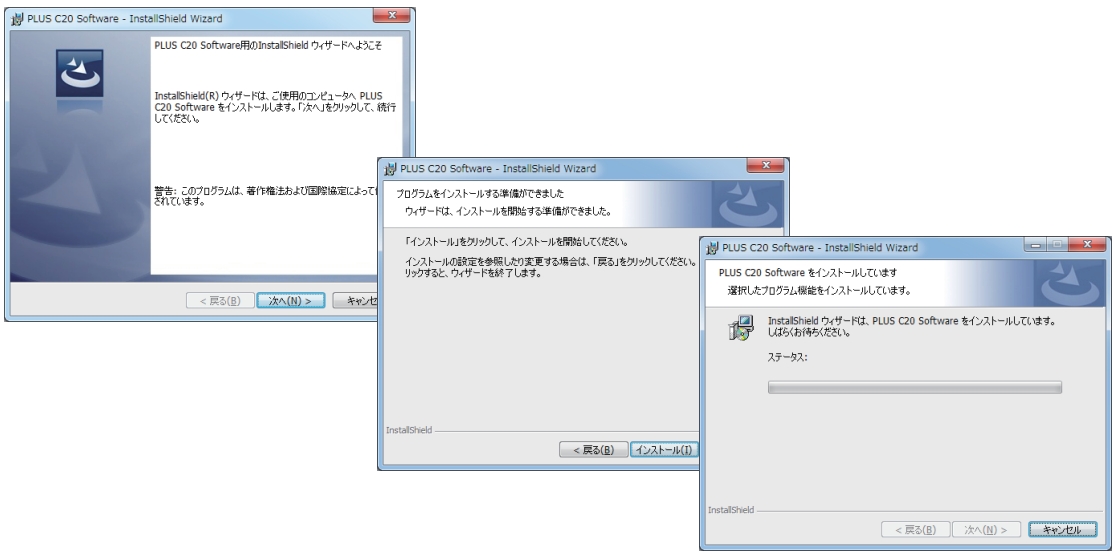
自動的にメニュー画面が表示されます。
自動で表示されない場合は、CD-ROM を開き「autorun.exe」をダブルクリックしてください。

2 「ソフトウェアのインストール」をクリックする。

インストーラが立ち上がります。

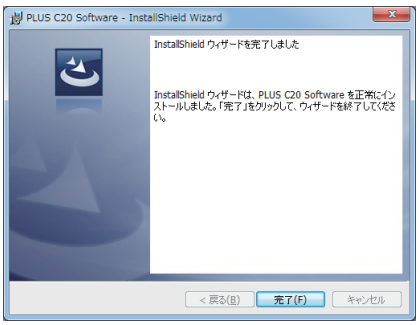


3 インストーラの指示に従ってインストールを行います。



4 「完了」をクリックします。

「インストーラ情報ダイアログ」が表示されます。



「はい（Y)」をクリックし、パソコンを再起動してください。

※ 本機の本体機器設定で「PC から印刷」を「する」に設定した場合
パソコンとキャプチャーボード（本機）を接続したとき、プリンタドライバのインストールを要求されます。プリンタに付属されている CD-ROM 等から、プリンタドライバをパソコンにインストール後、ご使用ください。

PLUS C-20 Software のアンインストール

1 ［スタート］→［コントロールパネル］を選択するとコントロールパネル画面が表示されます。

使用するパソコンと本機が USB 接続されていないことを確認してください。

2 「プログラムまたはアプリケーション（OS によって異なります）の追加と削除」ダブルクリックすると「プログラムの追加と削除のプロパティ」画面が表示されます。

3 一覧表示の中から PLUS C-20 Software を選択し［削除］をクリックすると追加と削除ウイザード画面が表示されます。

4 ウイザードの［削除］のラジオボタンを選択し［次へ］をクリックするとアンインス

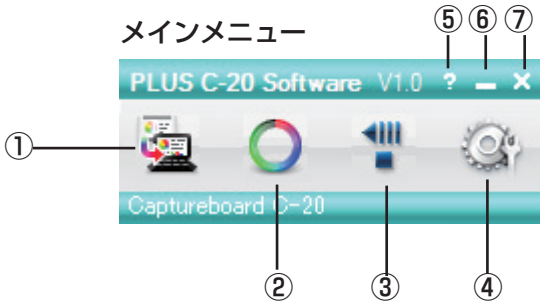
お知らせ

※ Windows Vista/Windows 7 の場合はアンインストーラを起動する度にユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。「続行」を選択してアンインストールを続けてください。

メニュー画面の名称とはたらき

専用ソフトウェア「PLUS C-20 Software」のインストールが終わっているパソコンと本機とを接続し、デスクトップ画面上の「PLUS C-20 Software」のアイコン を、ダブルクリックすると、メインメニューが表示されます。

メニュー



① 合成ボタン
シート面を読み取り、投影画像と手書き画像との合成画面を表示します。

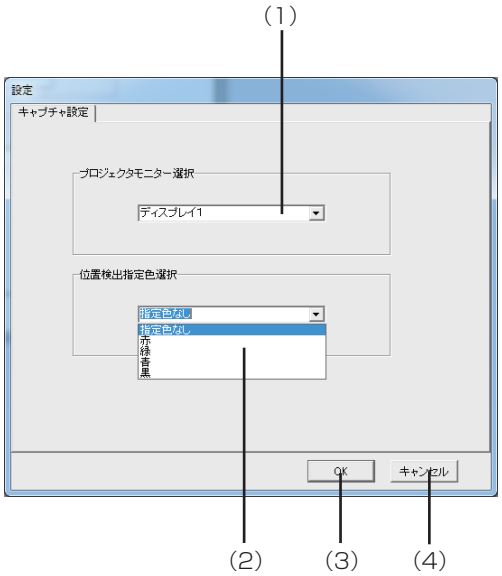
② マークボタン
投影画像の位置決め○印の表示を切り替えます。
クリックするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。
初期設定は「表示」です。

③ 送り／停止ボタン
シートを 1 面分左にスクロールします。

④ 設定ボタン
クリックするとキャプチャ設定を表示します。

キャプチャ設定：
合成画像を作成するときの設定です。

(1)プロジェクタモニター選択
　プロジェクタに接続しているモニターの番号を選択します。
　初期設定は「ディスプレイ 1」です。接続モニター数は本ソフトウェアが自動で検索します。
(2)位置検出指定色選択
　プロジェクタ投影画像の位置を検出する○印の色を選択します。
　「指定色なし・赤・緑・青・黒」から選択します。初期設定は「指定色なし」です。
(3)OK
　設定を確定して閉じます。
(4) キャンセル
　設定した内容を保存せずに設定画面を閉じます。

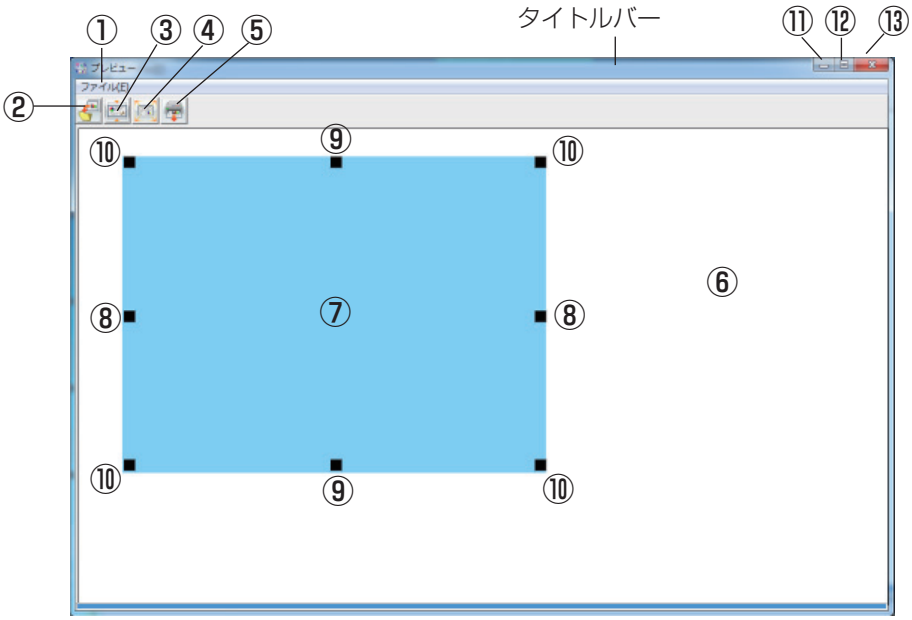


⑤ （ヘルプ）
操作説明を表示します。

⑥ （最小化）
メニュー画面を最小化し、タスクバーにアイコンが表示されます。

⑦ （閉じる）
プログラムを終了します。

合成画像表示画面



（機種名 C-20S の合成表示画面です）

① ファイルメニュー

上書き保存（S）　：現在の名前で上書き保存を行います。
名前をつけて保存（A）：別の名前や別の場所に保存を行います。
印刷（P）　：パソコンに接続されているプリンタで印刷を行います。

② 保存ボタン

保存データがある場合は上書き保存を行います。保存データがない場合は、保存画面を開きます。

③ アスペクトボタン

合成画像の横の比率を切り替えます。押すごとに「シート面と同じ比率画像」と「横を 3/4 サイズにした画像」が切り替わります（C-20W のみ有効）。
保存時は選択している比率で保存されます。
初期設定は「シート面と同じ比率画像」です。

④ 全画面表示ボタン

合成画像を全画面表示します。画面上でクリックすると元のウインドウサイズに戻ります。
※全画面表示は合成した画像をプロジェクタで投影する際に使用すると便利です。
初期設定はウインドウサイズです。

⑤ 印刷ボタン

パソコンまたはキャプチャーボードに接続されているプリンタから印刷を行います。

⑥ キャプチャーボード取り込み画面

スキャン操作をして取り込んだシート面の手書き画像データが表示されます。

⑦ パソコンキャプチャー画面

プロジェクタで投影しているパソコンの画面、ポインタ（⑧〜⑩）は⑦パソコンキャプチャー画面を左クリックすると表示し、右クリックすると消えます。
ポインタをドラッグしてサイズや歪みを微調整します。
位置の移動はポインタ以外をドラッグします。

⑧ 横サイズポインタ

横方向のサイズを補正します。

⑨ 縦サイズポインタ

縦方向のサイズを補正します。

⑩ アフィンポインタ

斜めに歪んでいる画像を補正します。

⑪ （最小化）

合成画像表示画面を最小化し、短いタイトルバーがタスクバーの左上に表示されます。また、ウインドウサイズで表示されているときにメインメニューの最小化アイコンをクリックするとタスクバーに合成画像表示画面もアイコンで表示されます。

⑫ （最大化）

クリックするごとに画像表示画面（ウインドウ）が最大表示と元の大きさに切り替わります。

⑬ （閉じる）

合成画像表示画面を閉じます。
合成画像を保存せずに閉じた場合は、合成画像は破棄されます。

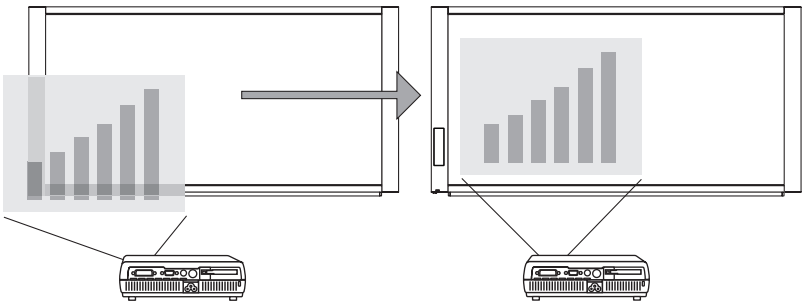
基本の操作

本機にプロジェクタを投影してプレゼンテーションを行い、記録をパソコンに保存する方法を例にしています。
操作の前に各機器との接続をし、各機器の電源を入れてください。

キャプチャー画像を合成する

1 パソコンの画像をプロジェクタから投影する

① パソコンを操作し、プロジェクタで投影する資料を用意します。
② プロジェクタ投影画面の大きさや表示位置などを調整します。
プロジェクタの使いかたは、プロジェクタの取扱説明書をご覧ください。



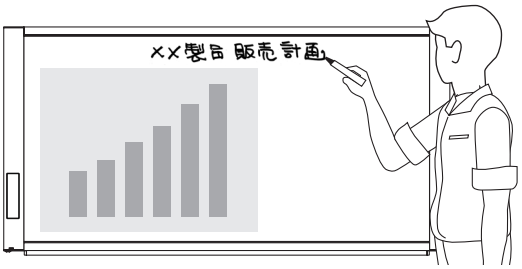
お知らせ

- パソコンからの投影画像は全画面表示（画像をパソコンの画面一杯に表示する、ツールバーなどを表示させない）の選択をお勧めします。全画面表示でない場合、ツールバーなども合成されます。詳しくは、パソコンや使用アプリケーションソフトの説明書をご覧ください。
- ノートパソコンの画面がプロジェクタから投影しない場合やノートパソコンの画面が消えた場合は、パソコンの外部出力の設定を変えてください。
  Windows の場合は通常ファンクションキーの［Fn］を押しながら［F1］～［F12］のいづれかのボタンを押して切り替えます。［F1］～［F12］はパソコンのメーカーによって異なります。
  Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま「P」キーを押して、設定メニューから外部出力（モニタ出力）に切り替えます。詳しくはお使いのパソコンのヘルプをご覧ください。
- プロジェクタのデジタル拡大機能を使った投影画像と合成しても拡大画像の合成にはなりません。
- プロジェクタは投影画像が傾かないよう水平に設置してください。投影画像が傾いていると合成画像のサイズや位置がずれるおそれがあります（本ソフトウェアでの調整は可能です）。
- プロジェクタの投影画像はキャプチャーボードの読み取り範囲内に投影してください。
- プロジェクタの投影画像はボード面の縦サイズの２／３以上の大きさで投影してください。
- プロジェクタのオートキーストン（自動台形歪み補正）値が大きい場合、合成画像のサイズや位置がずれるおそれがあります。

2 プレゼンテーションを行う

専用マーカーを使って文字や図形をシート面（投影面を含む）に描きます。

合成画像を会議記録として保存する場合、投影画面の四隅には文字や図形を書き込まないようにしてください。この四隅はあとで位置検出用の○印を描きます。



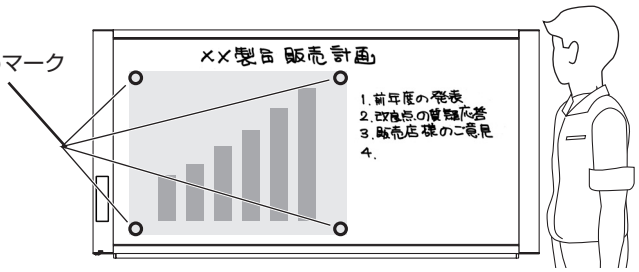
3 投影画像とシート面の合成画像をパソコンに保存する

「PLUS C-20 Software」をインストールしているパソコンと本機を USB ケーブルで接続する（5 ページ参照）。

デスクトップ画面上の「C-20 Software」のアイコン をダブルクリックすると、パソコンに「PLUS C-20 Software」のメインメニューを表示します。

位置決めマーク

プロジェクタ投影画像の四隅に○印（初期設定：指定色なしの位置決めマーク）が表示されます。



○マークの色を変更する場合は、メインメニューの（設定）ボタンをクリックします。

「位置検出指定色選択」からシート面の書き込みに使用していないマーカー色を選択してください。16 ページ「キャプチャー設定」をご覧ください。

○マークを表示していない場合はメニューの［ ］ボタンをクリックしてください。

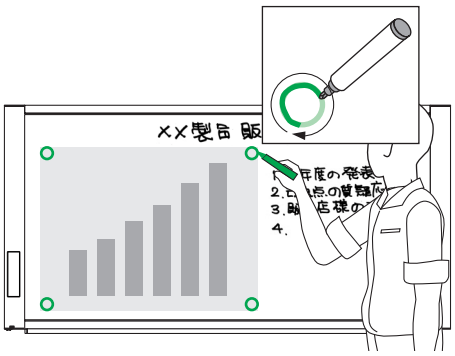
［ ］ボタンはクリックするごとに表示と非表示を繰り返します。

4 投影されている四隅の○マークと同じ色のマーカーでなぞる

○マークは投影されているマークの色で正しく描いてください。

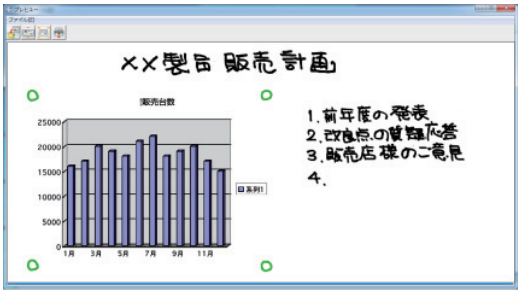
お知らせ

- 本ソフトウェアはシート面に描いた○印を使って投影画像とシート面の位置合わせを行っています。
  かすれていたり、途切れている○マークは認識できない場合があります。
- ○マークのそばには文字や図形を書き込まないでください。
- プロジェクタから極端な台形歪みのまま画像を投影している場合○マークは認識できない場合があります。
- ○マークを書かない場合は左上に投影画像が合成されます。
- シートの周囲に描画された内容は取り込めない場合があります。詳しくは本機の取扱説明書の「読み取り許容範囲」についてをご覧ください。
- 動画はパソコンキャプチャー画像として取り込むことはできません。



5 メインメニューの（合成）ボタンをクリックする

キャプチャーボードのシート面がスクロールして読み取りを開始し終了後、パソコンへ手書き画像を転送します。
しばらくすると合成画像表示画面が開きます。

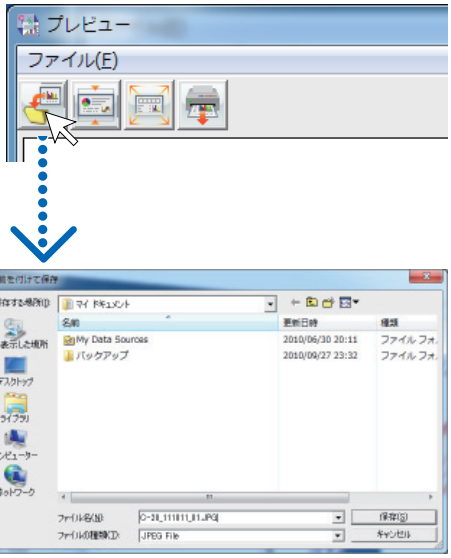


合成画像表示画面上でパソコンキャプチャー画像とキャプチャーボード取り込み画像のイメージがずれている場合は 15 ページ「キャプチャー画像を微調整する」をご覧ください。

お知らせ

- ［本体機器設定］でヘッダー／フッターを「あり」に設定しているときは、合成画面にヘッダー／フッター情報を表示します。この場合は、保存や印刷も行います。
  上記の設定は、キャプチャーボード本体の取扱説明書をご覧ください。

6 （保存）をクリックして保存する



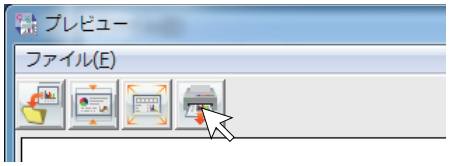
- 始めて保存する場合はクリックすると［名前を付けて保存］ボックスを表示します。
  「保存する場所」「ファイルの種類」を選択し、ファイル名を入力してから［保存］ボタンをクリックします。
  ファイルの種類は［▼］ボタンをクリックして「PNG」「JPG」「PDF」を選択します。
- ファイル名は［機種名＋日付＋連番］（例：C-20_111011_01）が自動で表示されます。必要があれば変えてください。
- 同じファイル名の保存データがある場合は上書き保存されます。
- 新規フォルダを作成する場合は［新しいフォルダの作成］アイコンをクリックし、新規作成フォルダにフォルダ名を入力してから［開く］をクリックします。
  次にファイルの種類を選択し、ファイル名を入力をしてから［保存］をクリックします。
- メニューバーの［ファイル］からは［上書き保存］または［名前をつけて保存］が選択できます。

これで本機のシート面の手書き画像データとプロジェクタ投影画像の合成画像が保存できました。
この保存画像を使って会議報告書や資料を作成することができます。

7 印刷する

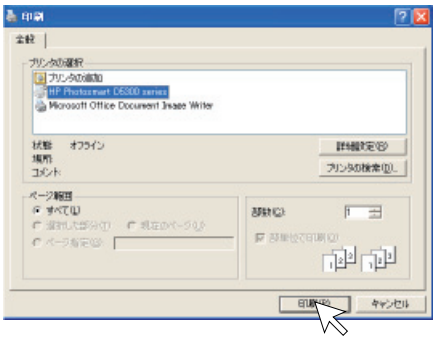
印刷はパソコンと接続しているプリンタで印刷を行います。

① （印刷）ボタンをクリックすると印刷設定画面が開きます。



② 印刷設定画面の［印刷 (P)］ボタンをクリックすると選択した画像を印刷します。
用紙サイズや向き、カラー印刷の品質などは、［詳細設定 (R)］ボタンをクリックして表示された画面で設定できます。
この画面は、プリンタにより異なります。

※ メニューバーの［ファイル (F)］から［印刷 (P)］を選択しても印刷できます。



お知らせ

- 合成された画像はキャプチャーボードとそれに接続しているプリンタを使って直接印刷することができます。キャプチャーボードに接続したプリンタを使用する場合は、プリンタに付属しているプリンタドライバをパソコンにインストールしてください。

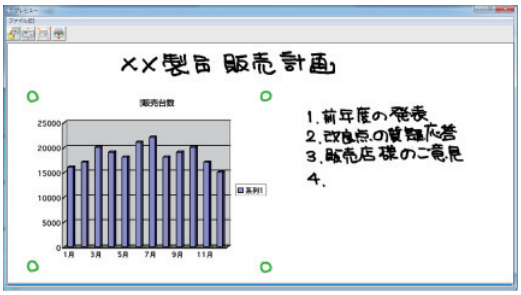
ご注意

- パソコンから印刷中にキャプチャーボード本体側の「カラー印刷」および「モノクロ印刷」のボタンを押すと、本体側の印刷が優先されます。
※印刷データがパソコンに残る場合があります。

8 終了する

（閉じる）をクリックすると合成画像表示画面が閉じます。
合成画面を保存せずに閉じた場合は、合成画像は破棄されます。

次のシート面でキャプチャーする場合は、（送り／停止）ボタンを押してシートを送り、手順４から行います。

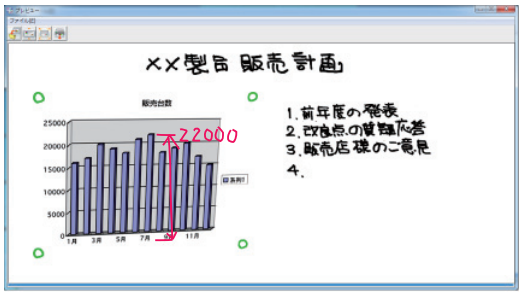


本ソフトウェアを終了する

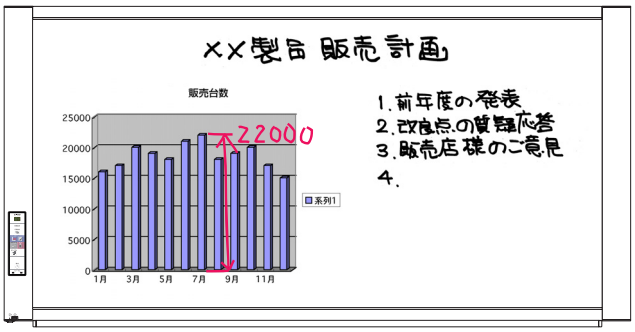
メインメニューのアイコンを クリックするとプログラムが終了します。

キャプチャー画像を微調整する

合成画像表示画面上でパソコンキャプチャー画像とキャプチャーボード取り込み画像（ボード面に書き込んだ文字や図形など）との位置がイメージと異なっている場合には、合成画像表示画面でパソコンキャプチャー画像の位置やサイズの変更を行います。



合成画像表示画面



型名 C-20W のキャプチャーボード

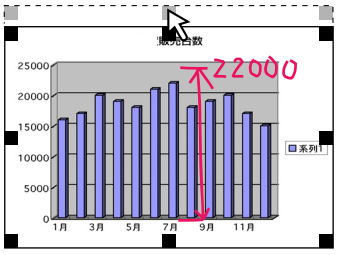
画像の表示位置を調整する場合

パソコンキャプチャー画像を目的の位置にドラッグします。

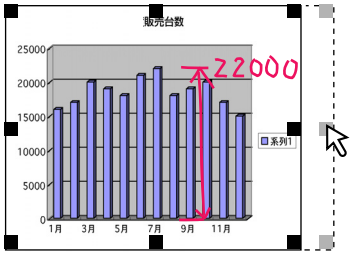
画像のサイズや歪みを調整する場合

パソコンキャプチャー画像を左クリックするとポインタ（8 箇所）を表示します。
ポインタをドラッグして調整します。
ポインタを消すには右クリックします。

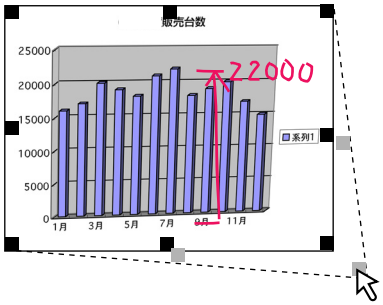
【縦に伸ばすとき】
中央の上または下のポインタをドラッグします。



【横に伸ばすとき】
中央の左または右のポインタをドラッグします。



【斜めに伸ばすとき】
四隅のポインタをドラッグします。



お知らせ

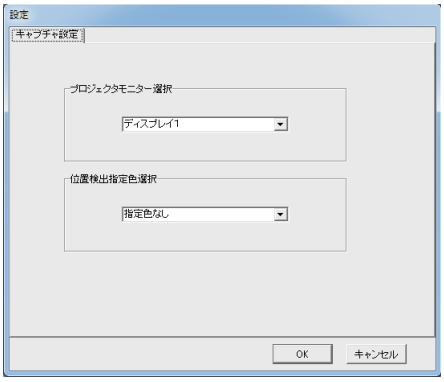
本ソフトウェアはキャプチャーボードのシート面に書いた手書き画像をパソコンに転送した画像と、パソコン画面（プロジェクタ投影用に出力する画面）をパソコン上で合成画像を作成します。
プロジェクタ投影画像の台形歪み（横歪み／縦歪み）を調整するとパソコン画面からの出力画面より僅かに小さくなります（歪み補正の大小により変わります）。これはプロジェクタの補正特性によるものです。
このため位置マッチングや画像サイズが僅かに異なります。これを調整するのが位置移動調整や画像サイズ調整です。

キャプチャー設定

投影するプロジェクタに投影するモニターの選択と位置検出用の○マーク色の選択が行えます。

1 メインメニューの（設定）ボタンをクリックする。

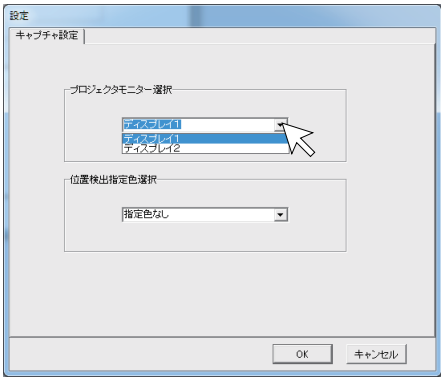
設定画面が開きます。



2 キャプチャーボードに投影させるプロジェクタに接続しているモニターの番号を選択する

モニターを複数台接続できるパソコンとプロジェクタとを接続している場合に設定します。1 台のみの場合は設定の必要はありません。

［プロジェクタモニター選択］欄の［▼］をクリックすると一覧を表示します。このなかから目的のモニター番号をクリックしてください。
接続モニター数は本ソフトウェアが自動で検索します。

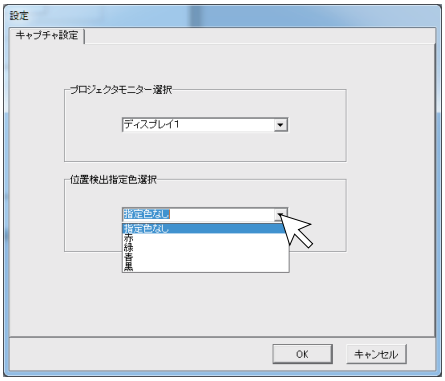


お知らせ

モニターの番号がわからないときはパソコンの「画面のプロパティ」→「設定」→「識別」をクリックしプロジェクタに接続しているモニターの番号を確認してください。

3 プロジェクタ投影画像の表示位置検出用の○マーク色の設定を変更する

［位置検出指定色選択］欄の［▼］をクリックすると一覧を表示します。
「指定色なし・赤・緑・青・黒」から目的の色をクリックします。

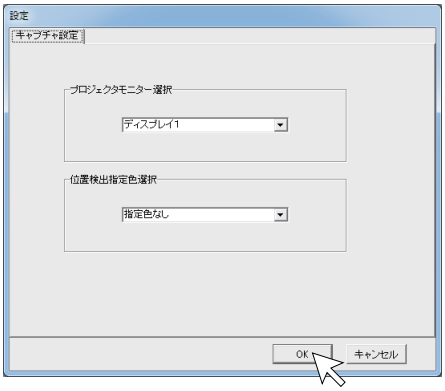


お知らせ

- 「指定色なし」を選択した場合は、赤、緑、青、黒の 4 色の中で任意のマーカー色が位置決めマーク書込み用としてご使用できます。認識はマーカーで書かれた○マークの形のみで判定します。
  ○マークに似た文字や図形を書き込むと投影画像の位置が正しく認識できない場合があります。
- 「赤、緑、青、黒」のうちどれかを選択した場合は、選択した色と同じマーカー色が位置決め書込み用としてご使用できます。認識はマーカーで書かれた○マークの色と形で判定します。
  同じ色のマーカーで○マークに似た文字や図形を書き込むと投影画像の位置が正しく認識できない場合があります。

4 決定する

[OK] ボタンをクリックすると設定されます。
[キャンセル] ボタンをクリックするとメインメニューに戻ります。



PLUS Corporation
プラス株式会社

本製品に関するお問い合わせ
TEL 0120-944-086
FAX 0120-331-859

ISO 14001 認証取得

©2011, PLUS Corporation
26-4605-11B